

デニム裁断屑を再利用したアップサイクルへの取組事例

- 製造時に生じる裁断くずを活用した製品の開発により、「ごみにしない」取組を推進

倉敷紡績株式会社における事例

取組概要

デニム裁断屑を再利用したUPCYCLING SYSTEM

- 株式会社エドウィンと連携し、デニム裁断屑を回収
- 回収した裁断屑は自社工場では反毛・開織し再び糸に加工
- その後、協力工場で染色、製織、加工、仕上げを行い、株式会社エドウィンだけでなく海外のブランドへ販売

リサイクル技術“L∞Plus”

- 服を作る時に出てしまう“裁断くず”の発生率は約15%（アイテムによる）
- 裁断くずを活用し、繊維製品、紙製品、プラスチック製品等へのアップサイクルを実施



効果

- 株式会社エドウィンとは裁断屑のみならず、消費者から回収したはかなくなったジーンズも組み込み「CO:RE（コア）」プロジェクトとして、広く消費者への認知、訴求にも繋がっている

企業名

KURABO

倉敷紡績株式会社

設立年

1888年

売上高

1,429億円
(2019年度)

企業概要

- 国内大手繊維メーカー
- ユニフォームやデニム、カジュアルなどの厚手素材で確固たる地位を確立
- クラボウの原点である繊維事業の紡績、織布、染色・加工における高い技術力が強み